



# トキかわら版

環境省 Ministry of the Environment 佐渡自然保護官事務所 TEL: 0259-22-3372

令和6年1月5日・第136号

新年あけましておめでとうございます。

昨年はキンちゃんの没後20年の節目の年、そして11月には中国から贈呈された雌のトキ「洋洋」が死亡したことも加わり、トキの野生復帰の歩みを顧みる1年になりました。2024年もどうぞよろしくお願ひいたします。

この度の能登半島地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。



## 佐渡島内のトキの動き（2023年12月）



雪の中に降り立つ5羽のトキ

平野部にも雪が降り、ふゆみすたんぼや水路などの積雪がない場所で餌を探したり、強風にあおられながらも飛翔したりと、厳しい冬の佐渡島で懸命に過ごすトキの様子が観察されています。また、トキは同じねぐらを集団で利用しますが、12月中旬に1箇所のねぐらで今期最多148羽のトキが利用しているのを確認しました。夜明けとともに数十羽が一斉にねぐらから飛び立つ様子は壯観です。

## 本州でのトキの動き

福島県内にて相次いでトキが目撃されました。9月には相馬市、11月には飯舘村にトキ1羽が飛来し、水田で餌を採る様子が確認されました。いずれも個体識別できており、同一個体であるかは不明です。さらに、12月に入ってからは新潟県長岡市でもトキの飛来が確認されています。



### 佐渡自然保護官事務所からのお知らせ



#### ◆トキのテラスと観察棟を閉鎖しています

1月1日に発生した地震による施設への影響確認及び安全点検のため、1月8日（月・祝）まで野生復帰ステーション観察棟、トキのテラス（屋内観察室、屋上共）、一般駐車場及びトイレを閉鎖します。

#### ◆アクティブ・レンジャー募集中！

環境省佐渡自然保護官事務所では、現在アクティブ・レンジャー（自然保护官補佐）を募集しています。野外のトキのモニタリング調査や普及啓発活動を中心に、各種業務に携わっていただきます。私たちと一緒にトキの野生復帰に取り組んでみませんか？ 詳細は関東地方環境事務所のホームページに掲載中の募集要項をご覧ください。（<https://kanto.env.go.jp/content/000177920.pdf>）

# トピック ～羽づくろいは何のため？～

田んぼや木の上にとまっているトキを観察していると、くちばしを自分の羽に差し入れて動かしていることがあります。この行動は「羽づくろい」と呼ばれ、トキだけでなく鳥類全般で見られます。



木の上で羽づくろいするトキ4羽

野外で生活していると、羽毛にはたくさんの汚れや寄生虫が付着します。また飛んだり風に吹かれたりしている間に羽が乱れてしまうことも。羽づくろいをすることで、こうした汚れ等を取り除いて羽毛を清潔に保つとともに、羽の並びやほつれを整えて、いつでも正常に飛べるようにしています。また、体から出る脂を羽に塗りつけ、雨を弾くようにすることで防水し、体が濡れるのを防いでいます。

頭の後ろは、自分では届かないでの、羽づくろいしてもらえると、とても気持ち良いのです

このように、羽づくろいは鳥にとって大切な羽毛の状態を整え、厳しい自然の中で生き抜くための重要な役割を持っています。さらに、2羽がお互いを羽づくろいする「相互羽づくろい」は、鳥同士のコミュニケーションの手段にもなっています。

気温が下がり、北風が吹き荒れる冬に向けて、今日もトキたちは入念な羽づくろいに勤しんでいます。



相互羽づくろいをするトキ2羽

## にいがた環境フェスティバル2023

12月23日（土）に朱鷺メッセで開催された同イベントで、トキの生態や野生復帰の取組、観察マナーを紹介しました。環境省ブースではポスターや写真の他、実物のトキの羽や足環、原寸大トキ模型などを展示しました。また、来訪者の方々にはクイズやモニタリング体験にも挑戦していただき、トキを身近に感じていただくとともに、楽しみながらトキへの理解を深めていただきました。



ブースでの説明の様子

## トキ関連ニュース

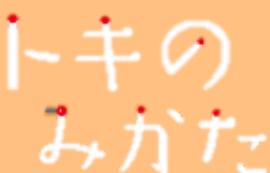
12月5日 人とトキの共生する島づくり協議会 総会が開催されました。

12月17日 トキガイド検定・トキ博士検定試験が行われました。

12月23日 朱鷺メッセで行われた「にいがた環境フェスティバル2023」に出展しました。



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





# トキかわら版

環境省 球環境省 佐渡自然保護官事務所  
Ministry of the Environment TEL: 0259-22-3372

令和6年2月1日・第137号

地震とともに始まった2024年。ねぐらに帰った直後の大きな揺れにトキも驚いたようで、ねぐらの周囲を群れで飛び回る様子が観察されました。飼育トキに大きな被害はありませんでしたが、まだまだ油断せずにいきたいと思います。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年1月）



採餌する3羽のトキ

頭から背中にかけての羽を黒く変色させる「羽色変化」が確認されました。これから迎える本格的な繁殖期に向け、段々と色が濃くなっていきます。羽色変化が始まるタイミングには個体差があり、野外では既に真っ黒な個体、まだ白い羽の個体など、様々なトキを見ることができます。「相互羽づくろい」「枝渡し」といった、異性に対する求愛行動も観察されており、中には古巣の場所を訪れるペアの姿も。来たる繁殖期に向け、準備が着々と進んでいるようです。

## 本州でのトキの動き

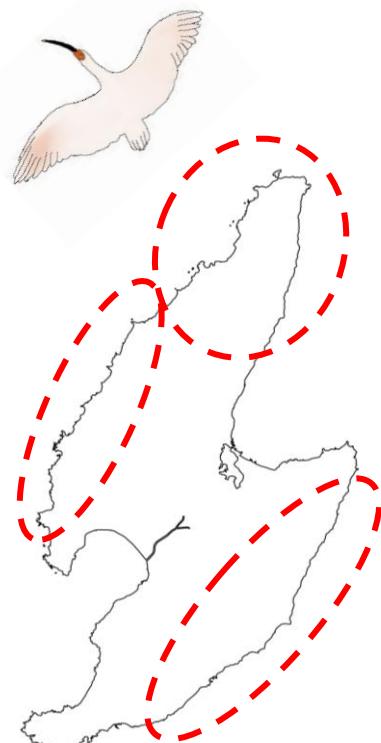
福島県南相馬市に野生下生まれのトキ1羽が飛来しました。南相馬市では初のトキの確認事例です。足環はなく、個体の年齢や性別は不明です。寄せられた目撃情報より、昨年12月下旬から南相馬市周辺に滞在していたことが分かっています。



### 目撃情報の提供にご協力をお願いします！

野外で生息するトキの個体数が増えるに伴い、佐渡島内におけるトキの分布地域が拡大しています。また、佐渡島内を飛び出し本州に飛来する個体も増加しています。モニタリングチームの目が届かない地域では、皆様からの目撃情報がトキの動向を把握する重要なデータになっています。

佐渡島内では特に右図の赤丸の地域、本州は全国各地での情報を収集しています。もしトキを見かけたら、トキ目撃情報フリーダイヤル（電話）または入力フォーム（Web）より、情報をお寄せください。



お電話で

0120-980-551



インターネットで

トキ目撃情報



# トピック ～解剖とトキが遺したメッセージ～

トキが死亡した場合、獣医師による解剖を行います。野外のトキも、死体が回収された場合には、トキ保護センターの獣医師が解剖を行っています。解剖することにより、見た目からは分からない病気やケガを見つけ、死亡原因の特定を試みるとともに、体の中を調べて獣医学的な知見を収集しています。

また、解剖することでトキの生態も見えてきます。先日解剖された個体では、胃を開いてみると大量のガガソボの幼虫（下の写真の線状のもの）が出てきました。その数はなんと250匹以上！このような餌資源の正確な情報も、解剖しなければ得られないデータの一つです。



解剖の様子  
(画像を一部加工しています)



1羽のトキの胃から出てきたもの

解剖から得られたデータは、餌の見直しやケージ内環境の改変といった飼育方法の改善、また野外におけるトキの生息環境整備などに役立てられています。

トキたちが死んでしまうのは残念なことですが、観察だけでは分からない、たくさんの情報を与えてくれます。トキが遺した手掛かりを基に、まだまだ未知なトキの生態を探っています。



## 鳥インフルエンザ警戒中！

全国で高病原性鳥インフルエンザが猛威を振るっています。鳥インフルエンザウィルスは、越冬するために日本へやってくる渡り鳥によって持ち込まれます。感染力が強く、養鶏場のニワトリへの大規模感染により、私たちの生活にも大きな影響が出ています。また、猛禽類を始め、希少な鳥類への感染も確認されています。

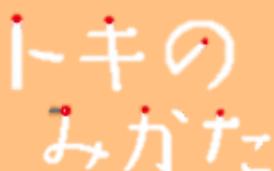
トキ飼育施設では、施設内のトキへの感染を防ぐため、ウィルスの感染拡大状況に応じた防疫対策を実施しています。敷地内での消石灰散布や、利用者の方への靴底消毒のお願いなどを行う場合もあり、来訪いただいた皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。



## トキ関連ニュース

1月30日 佐渡市役所相川支所高千連絡所にて、トキとの共生座談会を開催しました。

2月15日 トキ野生復帰検討会を開催します。



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





# トキかわら版

環境省 球磨自然保護官事務所  
Ministry of the Environment TEL: 0259-22-3372

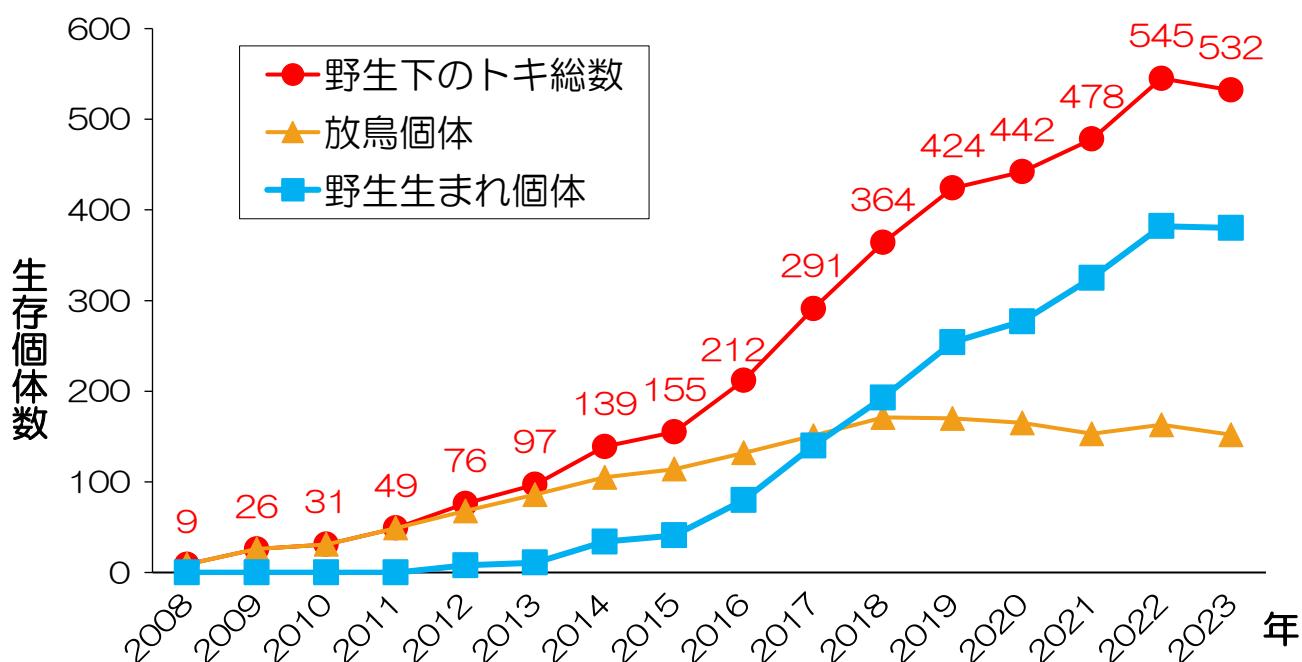
令和6年3月1日・第138号

例年より早い春日和の訪れに、佐渡の動植物は慌ただしく春の準備を始めています。トキもパートナーや営巣地を探すのに大忙し。いよいよ繁殖期が始まります。

## 2023年末時点の推定個体数を公表しました



2023年12月末時点の野外に生息するトキの個体数の推定を行いました。この結果、野外には532羽のトキが生息していると推定されました。内訳は、放鳥個体152羽、野生下で誕生したトキが380羽（足環装着個体173羽、足環無し個体207羽）となっています。放鳥開始以降、個体数は増加傾向でしたが、2023年は2022年とほぼ同数であり、500羽程度を維持しているという結果になりました。



また、推定個体数と同時に2023年の繁殖結果の推定値も公表しました。2023年は、165ペアが営巣し、そのうち27ペアから55羽が巣立ったと推定され、ヒナのふ化率、巣立ち率ともに過去2番目に低い値となりました。

どうしてふ化率や巣立ち率が低くなってしまったの？



### ①繁殖場所の高密度化

狭い範囲で多くのペアが営巣することで、テンやカラスなどの捕食者に見つかりやすくなる、トキ同士が互いにストレスを与えてしまうなどの悪影響が生じています。



### ②大雪の影響

昨年度の大雪により、繁殖期前の期間に十分な餌がとれなかったことが、ヒナの孵化率に影響したと考えられます。



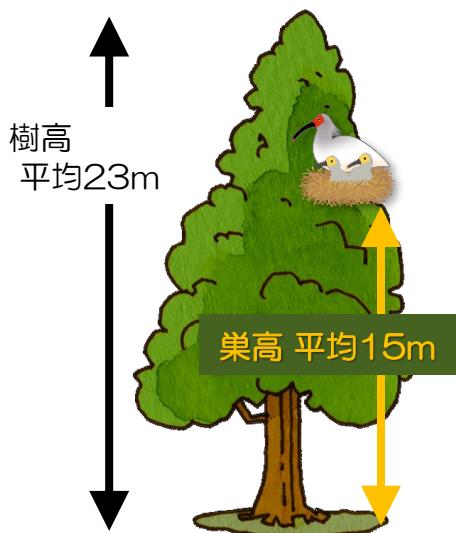
# トピック～どんなところに巣を作る？～

ペア形成の期間を経て、間もなく巣作りの時期がやってきます。トキは樹上に巣を作りますが、巣を作る林や木を選ぶ時にはいくつかのポイントがあると考えられています。

① 採餌場所に近い…繁殖期は営巣林から1500m以内で行動することが多いため、営巣林の周囲で十分な餌をとれることが重要です。

② 林の中に十分な空間がある…林内の樹木の密度が高かったり、竹や藪が繁茂していたりすると、トキは林内を飛ぶことができません。

③ 安定した高木…これまでの調査の結果、平均で樹高23m、直径58cmの木を営巣木として選び、更に高さ15m程の場所に巣を作ることが明らかになりました。



これらの条件を満たす場所として、平野部の屋敷林や社寺林、谷津田、防風林などで営巣が確認されています。営巣木の樹種は様々ですが、スギやスダジイ、クロマツに営巣する例が多くなっています。

このようにトキは繁殖も里地で行っています。皆様の家や職場の近くにもトキが巣を作っているかもしれません。もし身近な場所でトキの巣を見つけても、近付いたり長時間観察したりせず、普段通りにお過ごしください。また、トキの巣や、林の中に枝などを運び込むトキを見かけたら、ぜひ目撃情報をお寄せください。



お電話で

トキ目撃情報フリーダイヤル  
0120-980-551



インターネットで

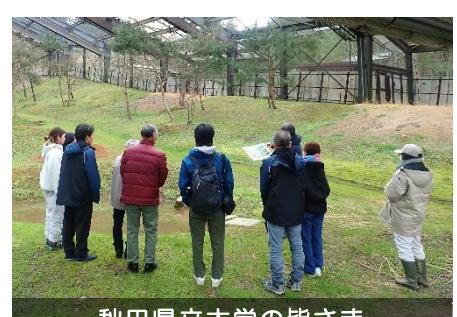
佐渡自然保護官事務所  
0259-22-3372

トキ目撃情報

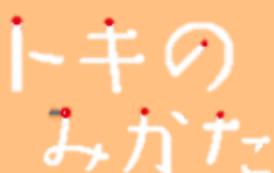


## トキ関連ニュース

- 2月15日 第24回トキ野生復帰検討会を開催しました。  
2月20日 トキの水辺づくり協議会 総会が開催されました。  
2月29日 秋田県立大学の学生が野生復帰ステーションを見学しました。  
3月1日 分散飼育地等連絡会議を開催します。  
3月12日 第30回放鳥候補個体の順化訓練を開始します。



秋田県立大学の皆さん



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。  
②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。  
③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）  
④大きな音や光を出さないようにしましょう。  
⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。



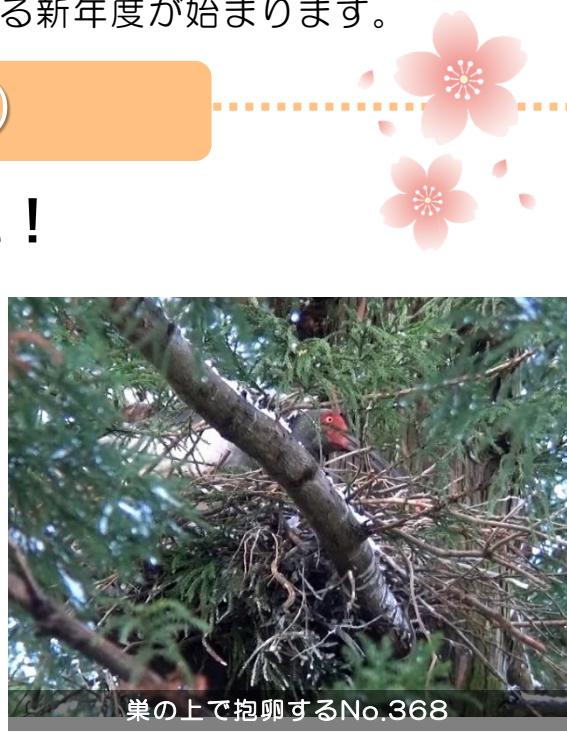
佐渡島内各地で花々が咲き、春の空気を全身で感じる季節になりました。今年も飼育・野生トキとともに産卵が確認されました。期待と不安が入り交じる新年度が始まります。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年3月）

### 今期初の営巣と抱卵を確認しました！

3月21日に新穂地区で、野生下のトキにおける今期初の営巣と抱卵を確認しました。営巣・抱卵しているのはNo.368／426ペアで、過去にも繁殖期になると新穂地区周辺で行動する様子が確認されていましたが、まだヒナを巣立たせたことはありません。約1ヶ月後、元気なヒナの姿が見られることを祈るばかりです。

また、このペア以外にも島内各地で巣作りのために枝を運ぶ様子が確認されています。



### 第30回放鳥に向けた訓練開始！



第30回放鳥に向け、3月12日に放鳥候補個体の順化訓練を開始しました。今回の訓練個体は、1歳～3歳のメスのトキ17羽で、個体識別のための足環の装着と羽の着色を行った後、午前11時頃に順化ケージにリリースしました。

訓練は約3ヶ月間行い、飛翔力や餌を探す力、群れの中での社会性など、野生で生きていくために必要な力を身につけていきます。

放鳥は6月上旬を予定しており、今回は初の試みとして大佐渡地域でのハードリリースも予定しています。

### トキ関連ニュース

- 3月1日 分散飼育地等連絡会議を開催しました。
- 3月5日 新潟市内での高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、佐渡島内のトキ飼育施設の防疫対策を強化しました。
- 3月6日 2024日中韓トキ国際フォーラムに出席しました。
- 3月12日 第30回放鳥候補個体の順化訓練を開始しました。
- 3月25日 宮城県登米市が開催する座談会にオンラインで出席しました。



# トキ国際フォーラムに出席しました



3月6日に、2024日中韓トキ国際フォーラムがオンラインで開催されました。本フォーラムは、日中韓3カ国とのトキ野生復帰に取り組む地域をつなぎ、情報共有と各地域の交流を促進することを目的に開催されています。過去に中国、韓国で開催され、2020年に日本での開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催が延期になっていました。

フォーラムでは各地域の取組状況が報告され、日本からは佐渡自然保護官事務所、佐渡市、出雲市が取組の内容や最新の野生下のトキの状況を報告しました。報告後には質疑応答や意見交換が行われ、各国の状況を知る貴重な機会となりました。

## 登米市とのオンライン座談会に出席しました

3月25日に、宮城県登米市が開催する座談会「トキとの共生を目指す登米市～登米市に『おかえりトキ』する日を願って～」に出席しました。登米市は、**トキと共に生する里地づくり取組地域**の「トキとの共生を目指す里地（B地域）」に選定されており、地域全体で環境保全型農業に取り組まれています。

座談会では、佐渡自然保護官事務所よりトキの生態や野生復帰事業について説明させていただいた後、地域住民・農家としてのトキ野生復帰に向けた取組について、幅広い視点から意見交換が行われました。



オンライン座談会 佐渡側の様子

トキと共に生する里地づくり取組地域の詳細は、環境省のホームページへ！

[https://www.env.go.jp/press/press\\_00336.html](https://www.env.go.jp/press/press_00336.html)



## 佐渡自然保護官事務所からのお知らせ

2019年4月より佐渡自然保護官事務所で勤務しておりましたアクティブ・レンジャーの菅野が、3月31日をもちまして退職しました。

### ● 菅野よりごあいさつ



この度、環境省を退職し、4月から佐渡トキ保護センターの会計年度任用職員としてトキ飼育に携わることになりました。トキの生態、トキ保護に関わってきた佐渡の皆様の思いや取組など、非常に多くのことを学ばせていただいた5年間でした。この経験を生かし、引き続きトキ野生復帰事業に関わっていきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





## 佐渡島内のトキの動き（2024年4月）



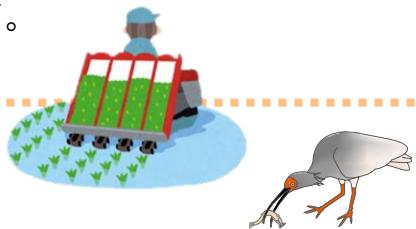
### 今年も野生下でヒナ誕生！



4月30日にNo.A09/239ペア（真野地区）で、今期最初にふ化したヒナ2羽を確認しました。野生下でのヒナ誕生は13年連続となります。

No.A09とNo.239は、ともに2014年生まれの10歳で、2017年から毎年ペアとなって繁殖に参加していますが、このペアのヒナが確認されたのは2020年以来4年ぶりです。

また、別の地区ではNo.67/95ペアのヒナも確認されました。



### 飼育下でもヒナ続々

飼育のトキでも繁殖が進んでいます。佐渡島内では佐渡トキ保護センターで3羽、野生復帰ステーションで2羽のヒナが誕生しました。飼育全体では17羽がふ化し、全国の分散飼育施設ですくすくと育っています。



野生復帰ステーションで育つ2羽のヒナ  
と成鳥（写真中央）

## 本州でのトキの動き

3月初旬から4月の期間に、新潟県阿賀野市に1羽、長岡市に1羽、柏崎市に2羽のトキが飛来しました。長岡市と柏崎市に飛来した個体は、いずれも野生生まれの成鳥であることが確認されています。また、本州で2羽が同時に確認された事例は今回が4例目になります。

もしあなたの街でトキを見かけたら、ぜひ目撃情報をお寄せください。



柏崎市に飛来したC86（写真左）と  
足環のないトキ（写真右）

※写真は目撃者の方からご提供いただきました。



フリーダイヤル

0120-980-551



インターネット



トキ目撃情報



# トピック～野生下最高齢ペアの繁殖のゆくえ～



モニタリングチームが注目するペアの1つが、No.08/25ペアです。No.08は野生下最高齢18歳のオス、No.25は16歳のメスで、どちらも第2回放鳥で放鳥されました。この2羽は放鳥された年である2010年からペアとして繁殖に参加しており、繁殖期以外も共に行動する様子が観察されています。繁殖には2014年に初めて成功し、それから2020年までの間で11羽のヒナを巣立たせました。

このペアの子であるトキたちも、今では立派な成鳥として野生下を生き抜き、繁殖にも参加するなど、確実に次の世代へ命を繋いでいます。

2021年以降もこのペアでの繁殖行動は見られるものの、ヒナの巣立ちは確認できていません。今年はこのペアのヒナが見られるのでしょうか？今後もこのペアの動向を追っていきます。



## トキ関連ニュース

4月12日 行谷小学校の「トキの話を聞く会」に講師として参加しました。

4月15日 佐渡中等教育学校の1年生が野生復帰ステーションを見学しました。

4月26日 新穂中学校の1年生がトキのテラスを見学しました。

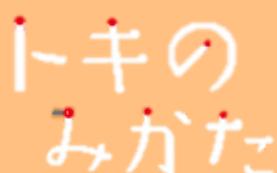


## 佐渡自然保護官事務所からのお知らせ

4月より新しいアクティブ・レンジャーとして、児玉 恵梨（こだま えり）が着任しました。

### ● 児玉より着任のごあいさつ

佐渡で生まれ、豊かな自然に育まれて野鳥好きへと成長し、憧れていたアクティブ・レンジャーという仕事に縁あって携わることになりました。トキの野生復帰に貢献できるよう、地元佐渡のみなさんと一緒に尽力していきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





島内各地でトビシマカンゾウが咲き誇る季節になりました。繁殖期は終盤に差し掛かり、今年も飼育、野生ともにトキのヒナの巣立ちが初確認されました。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年5月）



### 野生下でヒナ巣立ち！今期初確認



5月31日に、野生下で生まれたヒナの今期初の巣立ちを確認しました。巣立ちしたのは、野生下生まれトキ同士のペアとNo.67/95ペア（いずれも金井地区）のヒナで、5月中旬に個体識別のための足環を装着しました。野生下での巣立ちは13年連続、野生下生まれトキ同士のペアからの巣立ちは9年連続となります。

5月31日時点で、92ペアのトキが繁殖に参加し、52羽のヒナを確認しています。今年の繁殖期は、例年と比較して始まりが遅い傾向にありましたが、今年多くのヒナがすくすくと育っています。



足環装着時のNo.E22（5月21日）



巣立ちしたNo.E22



足環装着時のNo.E26～E28（5月22日）



巣立ちしたNo.E26

## トキ関連ニュース

5月17日 日本自然環境専門学校が野生復帰ステーションを見学しました。

6月4日 第30回放鳥ハードリリースを実施します。

6月10日 第30回放鳥ソフトリリースを実施します。

# 第30回放鳥 順化訓練は大詰め



順化ケージ内での田植えの様子

第30回目となる放鳥を前に、放鳥候補個体の順化訓練が大詰めを迎えていました。3月12日に順化訓練を開始して以降、自然に近い環境下で餌を探す練習や、草刈り、車の接近など人間活動に慣れる訓練を続けてきました。そして、5月15日には訓練の最終段階として、飼育員総出で順化ケージ内の田んぼに田植えを行いました。放鳥候補のトキたちは、大勢の人にも慌てず、落ち着いて田植えの様子

を伺っていました。第30回放鳥は、6月4日に小野見地区でのハードリリース、6月10日にソフトリリースを実施します。

## トピック ~トキの子育て奮闘記~

野生下では繰々ヒナがふ化し、親鳥は子育てに大忙し。ヒナが冷えないよう暖めて、ヒナを守るために周囲に目を光らせて、餌を探してきてヒナに与えて、巣を補強するために枝や草を運んで…とやるべきことは尽きません。時には、上手くヒナへの給餌ができなかったり（右上図）、ヒナ同士できょうだいげんかを始めてしまったり（右下図）と、なかなか一筋縄ではいかないようです。

巣立ちまであともう一息、日々奮闘するトキたちを最後まで見守っていきます。



給餌を試みる親鳥と餌を貰い損ねるヒナ

つつき合う2羽のヒナと見守る親鳥

## トピック ~優優が25歳になりました~



ケージ内を歩く優優

写真は佐渡トキ保護センター提供

5月21日は、佐渡トキ保護センターで飼育されているトキ「優優」の25歳の誕生日でした。優優は、1999年に中国から贈られたトキの友友と洋洋の子で、日本初の人工ふ化によって誕生したオスのトキです。

人の手で育てられ、長年佐渡トキ保護センターで暮らしてきた優優は、給餌や掃除のためにケージ内へ入ってきた飼育員にいたずらすることもしばしば。日本国内のトキの中では、友友に次いで高齢な優優ですが、毎日しっかり餌を食べて元気に過ごしています。





# トキかわら版

環境省 球磨自然保護官事務所  
Ministry of the Environment TEL: 0259-22-3372

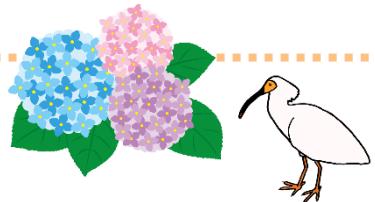
令和6年7月1日・第142号

梅雨に入り、アジサイが里山を彩る季節になりました。巣立ちした幼鳥が餌場に出始めましたが、まだ親鳥から餌をもらいたい様子。一人前になれるのはもう少し先になりそうです。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年6月）



第30回放鳥を実施しました！



放鳥者に見送られて飛び立つトキ



青空に羽ばたくNo.537

6月4日に、佐渡市小野見地区の水田で第30回放鳥を実施しました。大佐渡地域での放鳥は初めての試みとなります。ハードリリースでは過去最多となる17羽のトキが、小野見地区や高千小・中学校、たかち保育園の代表者の方々の手で放鳥され、約120名の観覧者が見守る中で快晴の空に飛び出していました。

また、今年は1999年に中国からトキの「友友」と「洋洋」が贈呈されてから25年の節目であることを記念し、これまで連携してトキ野生復帰事業に取り組んできた各機関の代表の皆様にも放鳥いただきました。

??

どうして新たに大佐渡地域で放鳥することにしたの？



現在トキの生息数が少ない大佐渡地域にも、トキの分布を拡大させることが目的だよ！こうすることで、平野部のトキの過密状態を緩和する、トキ同士の干渉を軽減させて、繁殖成功率を高めるなどのねらいがあるよ。



## 野生下トキの繁殖状況と足環装着

繁殖期も終盤に差し掛かり、島内各所の巣で続々とヒナが巣立ちしています。6月28日時点で、81羽のふ化が確認され、うち51羽が巣立ちしました。また、野生下で生まれたヒナの一部への個体識別用足環の装着作業を今年も実施し、合計33羽のヒナに足環を装着しました。



足環装着前に身体測定されるNo.E35

# 友友・洋洋 来日25周年記念大会が開催されました



6月23日にあいぽーと佐渡において、中国駐日本国大使館及び中国駐新潟総領事館が主催する、中国朱鹮「友友」「洋洋」贈呈25周年記念大会が開催されました。1999年に中国からトキの友友と洋洋が贈られてから、今年で25年となることを祝して開催されたもので、日中両国の多くの関係者が出席し、トキの野生復帰に向けた日中協力の更なる進展を祈念しました。

大会の冒頭では、トキの「洋洋」の剥製の初公開除幕式が行われ、第一部では関係者の方々からの挨拶、第二部では環境省より洋洋の功績を映像で紹介した後、行谷小学校のトキ解説員による発表や、日本国折紙千羽トキ詩の会による唄、鼓童による演奏が披露されました。

## 第31回放鳥に向けた順化訓練開始！



第31回放鳥に向け、6月27日に放鳥候補個体の順化訓練を開始しました。今回の訓練個体は1歳から12歳までのオスのトキ16羽で、10歳以上のトキを放鳥候補個体とするのは今回が初めてです。

訓練個体16羽は、個体識別のための足環の装着と羽の着色を行った後、午前10時40分頃に順化ケージ内にリリースされました。今回もリリース直後の事故防止のため、順化ケージ内の小スペースに放し、数時間後には訓練個体全羽が広いスペースに歩み出て行きました。これから約3ヶ月間、順化ケージ内で飛翔力や餌を探す力、群れで生きるための社会性などを身につけていきます。



翼にカラーマーキングをする様子



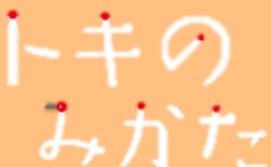
順化ケージ内に放鳥される訓練個体

## トキ関連ニュース

- 6月4日 小野見地区で第30回放鳥を実施しました。
- 6月11日 行谷小学校の水辺の生きものしらべに参加しました。
- 6月23日 中国朱鹮「友友」「洋洋」来日25周年記念大会が開催されました。
- 6月25日 人・トキの共生の島づくり協議会 生息環境整備部会・観光普及啓発部会が開催されました。
- 6月27日 第31回放鳥に向けた順化訓練を開始しました。



水辺の生きものしらべの様子



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





# トキかわら版

環境省  
Ministry of the Environment  
佐渡自然保護官事務所  
TEL : 0259-22-3372

令和6年8月1日・第143号

7月27日、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されました！これをきっかけに、より多くの方が、金山はもちろん佐渡島の文化や自然、そしてトキに興味を持っていただけたと嬉しいです。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年7月）



### 野生下トキ繁殖期終了 65羽が巣立ち！



木にとまつた幼鳥2羽

7月9日に、野生下のトキの今期の繁殖結果速報値を公表しました。モニタリングの結果、37組のペアから81羽のヒナが誕生し、うち65羽が巣立ちました。

幼鳥は親鳥とともに巣があった林を離れ、餌場に下り自分で餌を捕ろうと奮闘中です。最初はなかなか上手くいかず、親鳥を追いかけて餌をねだる様子も観察されていましたが、徐々に親鳥から離れ、群れに混じって行動し始めています。親離れした幼鳥たちは、

今度は群れの先輩トキたちから餌場や止まり木を学び、野生での生き方を身につけていきます。



### 初めての大佐渡放鳥 第30回放鳥トキのその後

6月4日に実施した第30回放鳥で、佐渡市小野見地区にて17羽のトキをハードリリースしました。初めての大佐渡地域での放鳥、トキたちは一体どのように過ごしているのでしょうか。

放鳥翌日に様子を見に行くと、山の斜面を器用に歩くNo.533や、山間部の道路を歩くNo.524を発見しました。野外に出て間もないトキたちは、安全な場所や餌場を探して、あちこち偵察に訪れているようです。また、放鳥当初は放鳥トキ同士で群れになっていましたが、数週間後には放鳥場所近くのねぐらで、野生下で生まれたトキと過ごしているのを確認しました。

今回のハードリリースでは、放鳥トキの多くが放鳥場所周辺に留まっている様子が観察されています。このまま野生生まれトキとも交流が進み、放鳥場所で繁殖、定着してくれることに期待が高まります。



山の斜面を歩くNo.533



木にとまる放鳥トキと野生生まれトキ

# 情報求む！～トキのねぐらを探しています～

環境省では、佐渡島内のトキの個体数を把握するため、明け方にねぐらから出てくるトキの数を数える「ねぐら出一斉カウント調査」を毎年実施しています。この調査に向けて、現在トキのねぐら探しを強化しています！皆さまのお家の近所で、「明け方頃にトキの鳴き声がする」「夕方になるといつもトキが来る」という木や林はありませんか？そこはトキのねぐらになっているかもしれません。

皆さまからの情報が、ねぐら探しの貴重な手掛かりになります。もし心当たりがありましたら、トキの目撃情報メールフォームより情報を寄せください！



飛翔するトキ



お電話で

トキ目撃情報フリーダイヤル  
0120-980-551

「ねぐらの情報  
です」とお伝え  
ください



インターネットで

トキ目撃情報



必要事項に加え、  
「その他」欄に  
「ねぐら」と入力  
ください

夜の間に眠ったり休んだりする場所が「ねぐら」で、日の出頃にねぐらから出て、夕方またねぐらに戻るよ。複数羽で同じねぐらを利用して、時には100羽近くが1つのねぐらに入ることも！



## お知らせ～トキの洋洋 回顧展～

佐渡市にあるトキの森公園内トキ資料展示館にて、昨年11月にこの世を去ったトキ「洋洋」の回顧展を開催中です。ぜひご来場ください！

### ◆トキの洋洋（ヤンヤン）回顧展◆

25年前に中国から日本へやって来たメスのトキの洋洋。日本初となる飼育下での繁殖を成功させ、トキ野生復帰の礎を築いてくれました。そんな洋洋が歩んだ軌跡を紹介するとともに、洋洋の剥製と骨格標本を公開します。

日時：7月20日（土）～8月30日（金）

場所：トキの森公園 トキ資料展示館（佐渡市新穂長畠383-2）



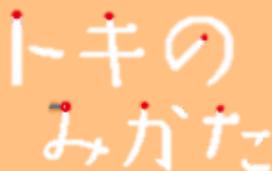
写真は佐渡トキ保護センター 提供

## トキ関連ニュース

7月6日 朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラムに出席しました。

7月11日 人・トキの共生の島づくり協議会 総会が開催されました。

8月6日 島根県出雲市で、第3回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会を開催します。



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





# トキかわら版

環境省  
Ministry of the Environment 佐渡自然保護官事務所  
TEL : 0259-22-3372

令和6年9月2日・第144号

厳しい残暑が続く中、田んぼを見ると立派に育った稻穂と、それを畦から見つめるトキの姿をよく見かけます。トキも収穫の秋が待ち遠しいのかもしれません。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年8月）

厳しい暑さが続く中、照りつける日差しを避けるように、とまり木の日陰で休息するトキが多く観察されています。一方、そんな暑さの中で餌を探すトキの姿も見られました。稻の背丈が高く、水田内に入れない夏の時期は、農道や畦、ビオトープ、圃場周辺の法面などの草地で採餌しています。

また、8月に入ってからは100羽以上のトキが同じねぐらを利用したり、30羽近くが同じ木に集まって休息したりと、群れの規模が徐々に大きくなっています。



木陰で休息するトキ

## トキと共生する里地づくりネットワーク協議会 開催



現地視察の様子

8月6日に、第3回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会が、島根県出雲市で開催されました。会議では「トキと共生する里地づくり取組地域」よりトキとの共生を目指して取り組んでいる生息環境及び社会環境整備の活動状況が報告されました。また、環境省より佐渡で行っている野生下トキのモニタリングについて紹介するとともに、本州でのトキの放鳥に向けた考え方や確認事項を示しました。

また、会議後には、トキのための生息環境整備に取り組まれている地区や、出雲市トキ分散飼育センター、トキ学習コーナーなどを視察しました。



### トキと共生する里地づくり取組地域とは？

本州等においてもトキが定着できるよう環境整備に取り組む地域で、トキの野生復帰を目指す里地（A地域）と、飛來したトキが生息できる環境整備を進める里地（B地域）を選定しています。

A地域：石川県と能登の9市町、島根県出雲市

B地域：宮城県登米市、秋田県にかほ市、

コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム（関東地方の18市町）

# 秋の観察シーズン やさしい見方でトキの味方に



刈田で採餌するトキの群れ

秋は1年で最もトキが観察しやすい季節です。稲刈り後の田んぼは見通しがよく、かつトキが群れで行動するため、田んぼでトキの姿を見つけやすくなります。さらに、換羽により羽の朱鷺色が最も美しくなる時期でもあり、この季節には毎年多くの方がトキの観察や撮影のために佐渡を訪れています。

一方、トキはとても臆病な性格のため、人が近づく

と飛んで逃げてしまいます。こうなると、トキの観察や撮影ができないだけでなく、トキにストレスを与えることにもつながります。

そこで環境省では、佐渡の皆さんによって作られた「トキとの共生ルール」に基づき、トキ観察時のポイントをまとめた「トキのみかた」を発行しています。

## ◆トキ観察のポイント◆

- ・トキには近づかず、やさしく静かに見守りましょう
- ・観察、撮影は車内から
- ・地域に迷惑を掛けないようにしましょう

農地へ勝手に入ったり、狭い道路で路上駐車したりするのはNG！車の中から見ていると、トキの方から近づいて来てくれることもあるよ



## トキのみかた

やさしい見方で  
あなたもトキの味方に

▲トキのみかた  
こちらからご覧いただけます▶



## トキ関連ニュース

8月6日 島根県出雲市で、第3回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会を開催しました。

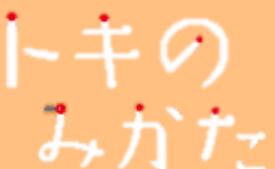
8月19日 新潟県新潟市において、中国財新潟総領事館が主催する「朱鷺杯」中日友好青少年書画撮影コンクール 入賞作品展の表彰式が行われました。

9月上旬 トキのねぐら出一斉カウント調査を実施します。

9月22日 第31回放鳥を実施します。



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





# トキかわら版

環境省 球磨自然保護官事務所  
Ministry of the Environment TEL : 0259-22-3372

令和6年10月1日・第145号

ひんやりとした風と揺れる黄金色の稲穂に秋を感じる季節になりました。稲刈りを終えた田んぼでは、群れになって夢中で餌を探すトキの姿が見られています。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年9月）



### 第31回トキ放鳥を実施しました

9月23日に、佐渡市北田野浦地区の棚田にて第31回トキ放鳥式典を行いました。当初は22日の実施を予定していましたが、荒天のため翌日に延期しました。今回の放鳥は、これまで行ってきたハードリリース方式に加え、放鳥場所に設置した仮設ケージ内で一定期間トキを飼育してから放鳥する方式で実施しました。

当日は約50名の地域の方々が見守る中、6羽のトキを放鳥箱から放鳥しました。また、仮設ケージからは23日に2羽、翌24日に5羽が飛び立ちました。さらに30日には、順化ケージに残っていた1羽がソフトリリース方式で放鳥され、第31回放鳥が終了しました。



放鳥箱から飛び立つNo.551



仮設ケージから飛び立つNo.554



歩いて仮設ケージから出るNo.546

### 仮設ケージからの放鳥の流れ

#### ① 順化ケージでの訓練

約2ヶ月

#### ② 仮設ケージでの訓練

約2週間

#### ③ 放鳥

- 放鳥候補となったトキを、野生復帰ステーションの順化ケージ内に放し、野生で生きるために順化訓練を行う
- 約2ヶ月間で飛ぶ力や餌を獲る力を付けたトキを、放鳥場所に設置した仮設ケージに移し、放鳥場所の環境に慣れるための訓練を行う
- 仮設ケージの放鳥口を開放し、トキが野外に出て行くのを待つ

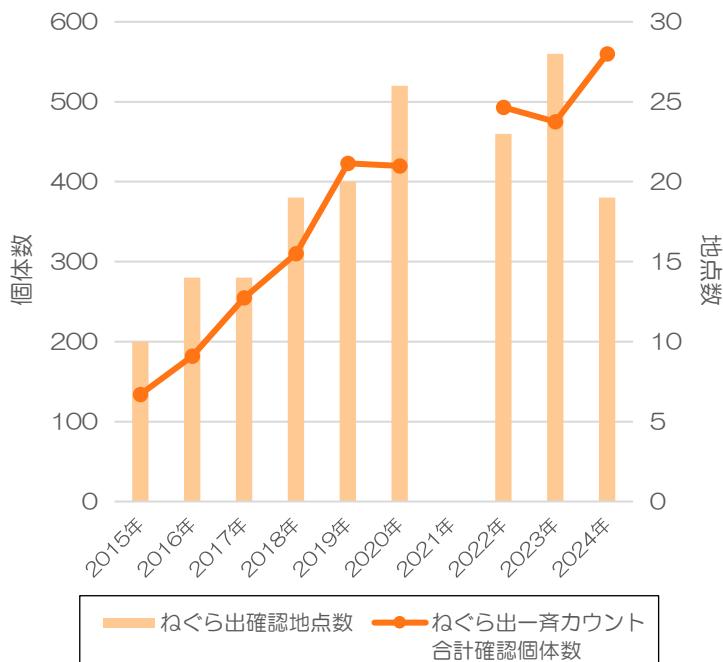


トキが放鳥地の環境に慣れてから放鳥することで、放鳥後も放鳥地に留まってくれることが期待されるよ。この方法は、2009年の第2回放鳥（左の写真）でも実施し、効果が見られた方法なんだ！

# トキのねぐら出一斉カウント調査を実施しました

9月10日から12日の3日間で、佐渡島内のトキの生息個体数を調べる「ねぐら出一斉カウント調査」を実施しました。早朝に佐渡島内53箇所のねぐらを調査した結果、19箇所のねぐらで合計560羽のトキを確認しました。ねぐら出確認個体数は過去最多となつた一方、トキが確認されたねぐらの数は昨年から9箇所減少し、過去5年間では最少となりました。

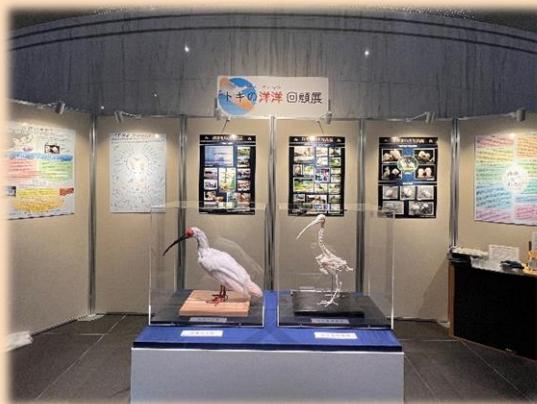
今回の調査は、市民ボランティアの皆様を含め、3日間で延べ79名で実施しました。朝早くからご協力いただきありがとうございました！



※2021年はコロナウイルス感染拡大のため調査中止

## お知らせ ~トキの洋洋 回顧展~

9月20日より、新潟県立自然科学館にて、昨年11月にこの世を去ったトキ「洋洋」の剥製と骨格標本を展示中です。本州では初めての展示となりますので、この機会に是非ご覧ください。



### ◆トキの洋洋（ヤンヤン）回顧展◆

日時：9月20日（金）～10月31日（木）  
場所：新潟県立自然科学館（新潟県新潟市中央区女池南3丁目1番1号）

※開館時間や利用料金等は、新潟県立自然科学館のHPをご覧ください。

<https://www.science museum.jp/>

## トキ関連ニュース

- 9月5日 第31回放鳥訓練個体7羽を、仮設ケージ内にリリースしました。
- 9月12日 新潟県知事、三重県知事が野生復帰ステーションを訪問されました。
- 9月20日 秋田県立大学の学生が野生復帰ステーションを見学しました。
- 9月23日 第31回トキ放鳥式典を行いました。



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。  
②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。  
③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）  
④大きな音や光を出さないようにしましょう。  
⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





# トキかわら版



環境省 佐渡自然保護官事務所  
Ministry of the Environment TEL : 0259-22-3372

令和6年11月1日・第146号

紅葉が山や里を彩る季節になりました。佐渡では冬鳥が續々と飛来し、日に日に田んぼや溜め池が賑やかになっています。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年10月）



田んぼに降り立つトキ

すっかり羽が生え換わり、朱鷺色が最も鮮やかな時期になりました。ほとんどの水田で稻刈りが終わり、刈田に集団で降り立って餌を探す様子が観察されています。集団の中には幼鳥も多く見られますが、巣立ちしたばかりの頃と比べ、餌を獲るのも飛ぶのも上手になり、成鳥とも遜色ない程たくましく育っています。

また一部の餌場では、佐渡に渡ってきた冬鳥と一緒に採餌する様子も見られるようになりました。



## 第31回放鳥トキのいま

先月の第31回放鳥では、北田野浦地区で13羽のトキを放鳥しました。放鳥翌日に様子を見に行ってみると、早速田んぼに降りて餌を探す放鳥トキたちの姿がありました。ハードリリースで放鳥されたトキは、慣れない環境に警戒しているためか、放鳥後しばらくは地面に降りない傾向があります。一方で今回の放鳥個体、特に仮設ケージから放鳥されたトキたちは、放鳥後も餌場に降りることに抵抗がない様子でした。

放鳥から約1ヶ月が経過し、第30回放鳥個体や、野生生まれ個体と一緒に行動している様子も確認されています。このまま大佐渡地域に定着することを期待しつつ、引き続きモニタリングしていきます。



枯れ木に集まる放鳥個体4羽



畦際を歩くNo.541

## トキ関連ニュース

- 10月5日 田んぼアート稻刈りが行われました。
- 10月9日 筑波大学の学生が野生復帰ステーションを見学しました。
- 10月24日 トキガイド養成講座でトキの野生復帰事業についての講義を行いました。
- 10月29日 トキ交流会館で、トキの返還に伴う受入れ証明書署名式を行いました。
- 11月8日 第25回トキ野生復帰検討会を開催します。



田んぼアート稻刈り

# 中国へトキ16羽を返還しました

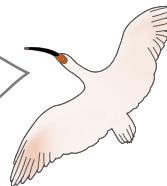
日本と中国の両政府間の取り決めにより、中国から提供されたトキから生まれた個体の一部は、中国に返還することとなっています。この取り決めに基づき、平成28年から令和4年の間に佐渡トキ保護センターで生まれたトキのうち16羽を、中国へ返還しました。個体の返還は過去に7回実施しており、今回は8年ぶりの返還となりました。16羽は31日朝に羽田空港を出発し、北京空港へ移送されました。



受入れ証明書に署名した日中両国代表

返還に先立って中国側代表団が来日し、29日に佐渡市にてトキ受入れ証明書署名式を行いました。また、30日には佐渡市内のトキ関連施設を視察されました。

中国から提供されたトキのうち、華陽（ホワヤン、♂）、溢水（イー・シュイ、♀）、樓樓（ロウロウ、♂）、閨閨（グワングワン、♀）の4羽の子どもの半数は、中国が所有することになっているよ。



## 佐渡自然保護官事務所からのお知らせ

### ◆にいがた環境フェスティバル2024に出展します！

当日は多くの企業や団体によるブース出展の他、様々な展示や体験企画、ステージイベントも行われます。ぜひお越しください！

日時：11月17日（日）10:00～16:00

場所：JR新潟駅 南口中央広場・ガタリウム（CoCoLo  
新潟1階 吹き抜け広場）

詳細は新潟県のHPをご覧ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kankyo/niigata-ecofes2024.html>



昨年の様子

### ◆高病原性鳥インフルエンザ警戒中 対策を実施しています



消石灰散布の様子

全国各地で、野鳥や家きんへの高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染事例が相次いでいます。佐渡島内のトキ飼育施設では、施設内のトキへの感染を防ぐため、敷地内の消石灰散布や来場車両の消毒などの防疫対策を実施しています。利用者の皆さまへ靴底消毒をお願いする場合もあり、ご不便をお掛けいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いします。

- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





# トキかわら版

環境省  
Ministry of the Environment 佐渡自然保護官事務所  
TEL : 0259-22-3372

令和6年12月2日・第147号

秋は早足に過ぎ去り、冬の気配を感じるようになりました。大佐渡山地は雪化粧を始め、人とトキの暮らす里地にも、まもなく雪が降りそうです。

## 佐渡島内のトキの動き（2024年11月）



集団で飛ぶトキ

冬が近付き、風の強い日が増えてきましたが、野生下のトキは強風にも負けずに餌を探しています。群れで行動する様子も見られ、11月中旬には、150羽を超える数のトキが1つのねぐらを利用しているのを確認しました。このねぐら以外にも、佐渡島内の各地で30羽から50羽のトキが利用するねぐらが複数確認されています。早朝、日の出とともに数十羽のトキが一斉に飛び立つ様子は壯觀です。



## トピック～君の個体番号は？消えるトキの足環～

放鳥されたトキと野生で生まれたトキの一部には、個体を識別するための足環がつけられています。足環には、個体番号が書かれたナンバーリング、個体識別を補助するためのカラーリング、金属足環の3種類があり、モニタリング調査ではこれらの足環を読み取って個体を識別し、野生のトキの個体数や生存率など調べています。



ナンバーリング（左）と  
カラーリング（右）



泥で汚れたり、草木に隠れたりしてナンバーリングが見えないことは日常茶飯事。そんな時にカラーリングが見えれば、その色の組み合わせで個体番号が分かるようになっているのです。左の写真では右脚の上に白と黒、下に青のリングがついているので、No.284と識別できます。

モニタリング調査には必要不可欠な足環ですが、せっかく装着しても外れてしまうことも珍しくありません。複数の足環が外れた結果、足環がついているのに判別が困難になってしまうことも。

右の図の例では、ナンバーリングが外れて右脚のカラーリングのみが残っています。一番下のカラーリングが異なりますが、実際は汚れや経年劣化により、黄色と白色のリングの見分けがつきません。右下の写真が実際の見え方です。No.A16かNo.A18か、どちらの個体か分かるでしょうか？



足環判読不能の個体

放鳥開始から16年が経過し、足環の外れた個体が増えてきました。一筋縄ではいかない足環判読に頭を悩ませながらも、今日もモニタリングチームはトキの観察に出かけていきます。

# 登米市とにかく市がシンポジウム開催

11月10日に宮城県登米市が、また11月23日には秋田県にかほ市が、トキとの共生について考えるシンポジウムを開催しました。登米市とにかく市は、トキと共生する里地づくり取組地域の「トキとの共生を目指す里地（B地域）」であり、トキの生息環境や社会環境の整備に向けた取組が進められています。

シンポジウムでは、持続可能な農業の実践に関する講演や事例報告、有識者によるパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、それぞれの地域内における環境保全型農業や、本州でのトキの放鳥に関する議論が交わされました。



秋田県にかほ市でのシンポジウムの写真

## トキと共生する里地づくり取組地域とは？

本州でのトキ定着を目指し、将来的にトキが生息できるよう環境整備の取組を進める地域として選定された地域。トキとの野生復帰を目指す里地（A地域）と、トキとの共生を目指す里地（B地域）がある。



## にいがた環境フェスティバル2024

11月17日、JR新潟駅周辺で行われた同イベントに出展しました。環境省ブースでは、トキの生態や野生復帰の取組を紹介するポスターの他、野生のトキの写真、個体識別用の足環、原寸大トキ模型などを展示しました。またトキクイズや、触れる実物のトキの羽、双眼鏡を使った足環の判読に挑戦できるコーナーも準備し、訪れた多くの方に体験していただきました。実物のトキの羽は初めて目にする方が多く「意外と硬くてしっかりしている」「思ったよりも色が鮮やか」と驚く声が多く聞かれました。



足環判読体験の様子

こうした体験や展示を通じ、トキをより身近に感じていただくとともに、楽しみながらトキへの理解を深めていただきました。

## トキ関連ニュース

11月8日 第25回トキ野生復帰検討会を開催しました。

11月14日 人・トキの共生の島づくり協議会 生息環境部会及び観光・普及啓発部会に出席しました。

11月17日 にいがた環境フェスティバル2024に出展しました。



- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。

